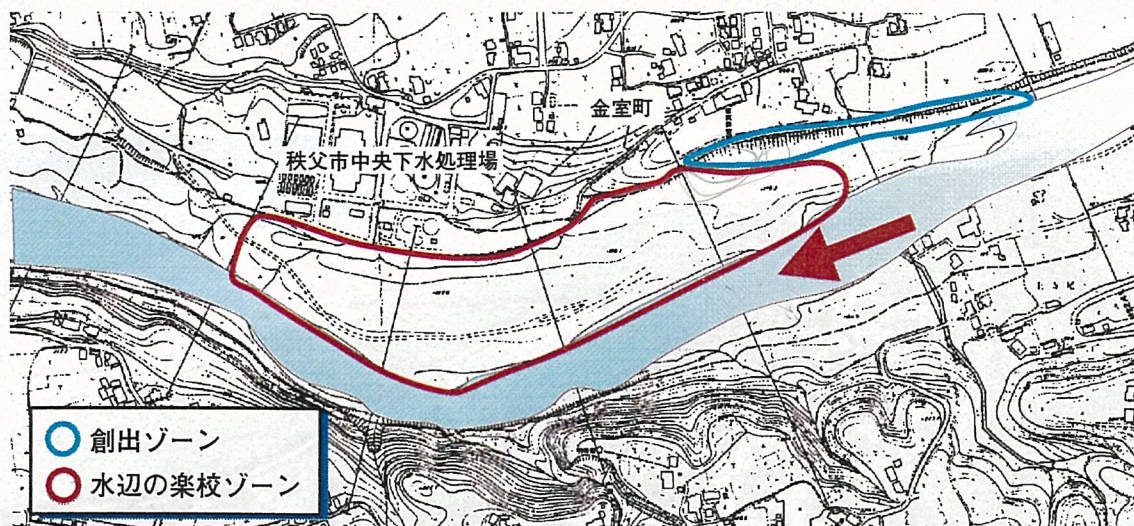


提案地3 金室地区

ゾーニング



1 創出ゾーン

金室地区荒川右岸 122.0 k p ~ 122.2 k p の護岸部分。

ここは、接続ブロックが露出しており、植生帯がここでとぎれている。堤内外の植生を連続させ生物の移動を助ける意味と景観上の意味の両面から、ブロック上に覆土し、植生復元を助けるような施工を行なう。

したがって、この区間は植生の連続性を創出する創出ゾーンとする。

2 水辺の楽校ゾーン

金室地区荒川右岸 121.4 k p ~ 122.1 k p の河原と水路部分。

122.1 k p 付近より枝分かれした流れが、広い河原に多岐に分岐して、湿地を形成している。また、下水処理用に引き込まれた流れと、ため池周辺には抽水植物が繁茂しており、昆虫類や鳥類その他の水辺の生物の良好なハビタットとなっている。

したがって、ため池、枝分かれした流れ、本流といった湿地のビオトープのネットワークを保全・観察する水辺の楽校ゾーンとする。整備は湿地を歩ける遊歩道や生き物の看板等に止める。